



▲古墳の石室内をのぞき込む説明会参加者

第8回ふくつの古墳まつり・34号墳現地説明会 古代に思いをはせて

ふくつ観光協会が主催する第8回ふくつの古墳まつりが、3月1日から3月20日まで行われ、3月17日には新原・奴山古墳 22号墳付近の古墳会場で「34号墳現地説明会」が行われました。

雨が降り、足元もぬかるんでいる状態でしたが、市文化財課の職員の説明を聞きながら古墳の中の様子を直接見ることができる貴重な機会ということで、多くの人が訪れていました。

訪れた人は「中に赤いラインがある」「石の柱みたいなものがある」などの声を上げながら、5～6世紀ごろから存在する古墳に感慨深げでした。



▲中学校の先生や保護者と一緒に写るメンバーと原崎市長

チアダンス世界大会に出場 世界一を目指して

チアダンスチーム「Double D Vanilla」の皆さんが、九州大会で優勝、全国大会で3位という成績を収め、5月上旬にアメリカのウォルト・ディズニーワールドリゾートで行われた世界大会に日本を代表して出場しました。

「Double D Vanilla」のメンバーの内、福津市内の中学校に通う2年生の3人が、4月5日に原崎市長を表敬訪問。市長に大会での演技の動画を観せると、市長は演技の難しさや今後の抱負などを問い掛け、選手の皆さんは、とびきりのスマイルとともに質問に答えていました。

津屋崎千軒町家めぐり&第10回まちなみフォーラム福岡 in津屋崎千軒 豊村酒造の創業150周年と国重要文化財指定を祝して

津屋崎千軒海とまちなみの会、藍の家保存会、津屋崎千軒いきいき夢の会、まちなみネットワーク福岡からなる実行委員会が主催する「津屋崎千軒町家めぐり&第10回まちなみフォーラム福岡 in津屋崎千軒」が4月20日に開催されました。

午前中の町家めぐりでは、2つのコースに分かれて豊村酒造や藍の家のほか、昔ながらのまちなみが残る津屋崎千軒を散策しました。津屋崎千軒海とまちなみの会と藍の家保存会の皆さんがガイドを務め、豊村酒造では、藍の家保存会代表の古閑由美さんが、豊村酒造の価値を伝えるべく、ま

ず、塩木の梁や神棚、高欄などを紹介。また、施設内を見学しながら、実際に酒づくりが行われていた当時の写真を見せたり、クイズを交えたりしながら参加者に説明していました。

午後からは都市景観計画の第一人者である國學院大學観光まちづくり学部長の西村幸夫教授の基調講演やパネルディスカッションが行われました。参加者の皆さんは、今後のまちなみ保存や継承、まちづくりにつなげていこうと、メモを取ったり、写真を撮ったりしながら、熱心に話を聞いていました。



①国の重要文化財指定の意義と保存活用について語る西村教授②登壇者5人が景観保全や町家の再生活用について語ったパネルディスカッション③豊村酒造の施設について説明する古閑さん④昔の写真を見せながら説明する末廣さん⑤笑顔で参加者にあいさつをする豊村理恵子さん

発行月に1歳の誕生日を迎える赤ちゃんの写真を募集。掲載を希望する人はプリントした写真を市子育て支援センター「なかよし」に持参するか、市公式ホームページでも受け付けています。持参の場合、写真はプリントしたものに限ります。データの持ち込みは受け付けられません。

毎月先着24人で、8月生まれの赤ちゃんは6月20日(木)が受付期限です。

受付、問い合わせ 市子育て支援センター「なかよし」(ふくとぴあ) ☎35・8382

休館日 月曜日、第2土曜日とそれに続く日曜日、祝日

▶写真申込フォーム

| | | |
|------------|------------|------------|
| 平野 蒼来ちゃん 東 | 金子 楽明ちゃん 福 | 石橋 叶羽ちゃん 福 |
| 本田 環ちゃん 南 | 山口 紫陽ちゃん 東 | 堺 翔希ちゃん 南 |
| 渡邊 里ちゃん 南 | 寺本 涼惺ちゃん 福 | |

HAPPY BIRTHDAY!

1歳を迎える赤ちゃんの写真を募集

ふくつ3歳おめでとう

福津市の海岸清掃活動の様子などが教科書に掲載 市を知ってもらおうきっかけに

福津・宗像市ほか全国の小学校で使用されている、令和6年度の小学校理科の教科書「新版 たのしい理科6年」に、市の海岸清掃活動とウミガメの写真が掲載されました。掲載ページ下部には市うみがめ課制作の「ふくつの自然を考える本」を閲覧できる二次元コードも掲載されています。

マイクロプラスチック

プラスチックのごみ廃棄やゴミ、クジラなどの体からまったり、食べものごみがえられて食べられたりするなどの問題が起きています。こうしたプラスチックの廃棄のうち、5mm以下のものはマイクロプラスチックと呼ばれ、世界の海にたどまっていると考えられています。マイクロプラスチックは海の中の小さな生物とちよと同じくらい小さなサイズの、魚たちが食べものごみと間違えて食べてしまいます。「5生物と地球環境」では、生物は「食べる・食べられる」という食物連鎖の関係でつながっていることを学びました。小さなものは、食物連鎖により、たくさんの種類の生物の体に入りこんでしまうことが考えられます。

▲マイクロプラスチックの説明欄に掲載されています

春の交通安全県民運動 「思いやり・ゆずり合い」運転を

春の交通安全県民運動が4月6日から4月15日まで行われました。市内では、地域ボランティアや市職員、市議会議員、小・中学校校長らが交差点に立ち、街頭指導を強化しました。4月12日には原崎市長も交差点に立ち、登校・通勤する人にあいさつをしながら、交通安全を呼び掛けました。



▲歩行者にあいさつをしながら交通誘導を行う原崎市長